# 第 25 講　現代社会の諸課題②

## 1　情報社会

### ①情報社会の進展

A　**情報技術革命〔ＩＴ革命〕・情報通信技術革命〔ＩＣＴ革命〕**

20 世紀末以降，急速に**情報化**が進んでいる。

B　**「脱工業化社会」**

**アメリカ**の社会学者**ダニエル＝ベル**（1919 ～ 2011 年）が説いた，情報社会と似た概念。

C　**高度情報社会**

先進国を中心に，**マスコミュニケーション**に代わり，**パーソナルコミュニケーション**が台頭。

※**インターネット**やケーブルテレビ，動画サイトなどのニューメディアを利用するとともに，ネットショッピングをしたり，**ＳＮＳ〔ソーシャルネットワーキングサービス〕**で交流したりする。

※**ｅコマース〔電子商取引〕**も盛んで，テレビ電話も珍しくない。店頭でモノやサービスを購入すると，**ＰＯＳシステム〔販売時点情報管理制度〕**で購入者や購入品の情報が記録され，クレジットカードや電子マネーで決済する。**スマートフォン**などのモバイル端末も手放せない。

D　**「疑似環境」**

**アメリカ**のジャーナリストである**リップマン**（1889 ～ 1974 年）が 20 世紀初頭，**ステレオタイプな世論操作**の危険性などに警鐘を鳴らした用語。

E　**「疑似イベント」**

**アメリカ**の歴史学者**ブーアスティン**（1914 ～ 2004 年）は，実際に起きたことよりも，**マスメディア〔大衆媒体（ばいたい）〕**によって再構成された「事実」のほうが本当らしく見え，そこに大きな価値を見いだそうとする現代社会に警鐘を鳴らした用語。

## ②情報社会の課題

A　**管理社会化**

地方公共団体の情報公開条例に続き，**情報公開法**制定（1999 年）。

B　ハッキング〔不正アクセス行為〕

C　コンピュータ＝ウイルスのばらまき

D　フィッシング詐欺（さぎ）

E　**プライバシー侵害**

地方自治体の個人情報条例に続き，**個人情報保護法**制定（2003 年）。

F　**知的財産権〔知的所有権〕の侵害**

G　テクノストレスやネットうつ

H　**バーチャルリアリティ〔仮想現実〕・サイバースペース〔仮想空間〕**と現実の混同

I　**デジタルデバイド〔情報能力格差〕**

格差解消のため，**ユビキタス社会**の実現がめざされている。

**※メディアリテラシー・情報リテラシー・情報倫理**〔ネチケットなど〕の必要性。

# ２　国際化と多文化共生社会

## ①多様な文化と異文化理解

A　**文化摩擦**(まさつ)の克服

**文化相対主義**の立場に立つことが重要。

B　**国際社会→グローバル化・ボーダレス化**の進展

**異文化理解**が必要条件。

## ②多文化主義〔マルチカルチュラリズム〕

文化相対主義からさらに踏み込んで，一つの国家や社会の中で複数の文化が共存できるよう，その障害となる諸要素を社会政策により取り除いていこうという立場。

**※自民族中心主義〔エスノセントリズム〕**の克服が必要。

## ③日本における課題

A　**アイヌ問題**

1899 年から続いていた**北海道旧土人保護法**に代わり，1997 年に**アイヌ文化振興法〔アイヌ新法〕**を制定。

※2008 年，北海道洞爺湖(とうやこ)サミット開催に合わせ，衆参両院で『アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議』を採択。

B　**沖縄問題→**もと**琉球王国**

米軍基地問題など。

C　**在日韓国人・朝鮮人問題**

1999 年には，永住資格をもつ定住外国人に対する指紋押捺(おうなつ)制度が全廃された。

# ３　国際平和と人類福祉

## ①国際社会への日本の貢献と課題

A　**ＯＤＡ〔政府開発援助〕**

「顔の見えない」経済援助のみでなく，環境保全・医療・文化財保護など総合的な援助も望まれている。

B　ＪＩＣＡ〔国際協力機構〕の**青年海外協力隊**

発展途上国に赴き，農業や公共事業などの技術指導などを行う。

C　**ＰＫＯ〔国連平和維持活動〕**

※1992年，自衛隊をカンボジアに派遣。以後，各地に拡大。

D　**ＮＰＯ〔非営利組織〕**の活動

1998年，ＮＰＯ法〔特定非営利活動促進法〕制定。

E　**ＮＧＯ〔非政府組織〕**の活動

代表的なＮＧＯには，**アムネスティ・インターナショナル**，**国境なき医師団〔ＭＳＦ〕**，**国際赤十字**などがある。

## ②国際平和をめざして

A　**ユネスコ憲章**の前文→ＵＮＥＳＣＯ〔国連教育科学文化機関〕

「**戦争**は人の心の中で生まれるものであるから，人の心の中に**平和のとりで**を築かなければならない」

B　初代ドイツ大統領ヴァイツゼッカー（1920～2015年）の終戦40周年記念演説

「過去に目を閉ざすものは，結局現在にも目を開かなくなります」

C　**対人地雷全面禁止条約〔オタワ条約〕**（1999年発効）

国際ＮＧＯの連合体である，**地雷禁止国際キャンペーン**〔ＩＣＢＬ〕からの強い働きかけが実る。

D　核軍縮の動き

1955年　**ラッセル・アインシュタイン宣言**

1957年　**第１回パグウォッシュ会議**

1963年　**部分的核実験禁止条約〔ＰＴＢＴ〕**

1968年　**核拡散防止条約〔ＮＰＴ〕**

1996年　**包括的核実験禁止条約〔ＣＴＢＴ〕**

1997年　化学兵器禁止条約の発効

2009年　プラハ演説

※アメリカのオバマ大統領が,「核のない世界」をめざすことを宣言。

## ③現代の消費社会・大衆社会

A　**マックス＝ウェーバー**（1864～1920年，**ドイツ**の社会学者）

**官僚制〔ビューロクラシー〕**を考察。

B　**フロム**（1900～80年，**ドイツ**の精神分析学者，フランクフルト学派「第１世代」）

著書『**自由からの逃走**』で現代の大衆を考察。

C　**リースマン**（1909～2002年，**アメリカ**の社会学者）

著書『**孤独な群衆**』で，社会における人間の性格的傾向を，**伝統指向型（＝古代・中世）・内部指向型（＝近代）・外部〔他人〕指向型（＝現代）**の３つに分類。

D　**ボードリヤール**（1929～2007年，**フランス**の社会学者）

著書『消費社会の神話と構造』で，場の空気を読み，突出しない程度に周囲と差異をつけて個性を主張する，という現代人の特徴を指摘した。

※現代の消費社会は，商品に少し差異を設けて多品種を展開することで，「流行からは外れたくないが，人とは違うものを使いたい」という刺激し続けている，と述べた（＝**記号としての消費**）。

E　**オルテガ**（1883～1955年，**スペイン**の哲学者）

著書『**大衆の反逆**』で，現代とは，自分が他人と同じであることを喜び，自己満足的で無気力な平均人が権力を握る，歴史上はじめての時代である，と述べた。

## ④先進国の豊かさと国家間格差

A　日本はＧＤＰ世界第３位の**経済大国**

B　**南北問題**

先進国と発展途上国との格差問題。

C　**南南問題**

発展途上国間での格差問題。

## ⑤難民問題と人権保障

**1948年　世界人権宣言**

1951年　**難民の地位に関する条約〔難民条約〕**

※経済難民，環境難民なども発生。

1965年　人種差別撤廃条約

**1966年　国際人権規約**

1981年　国際障害者年

1985年　国際青少年年

1986年　国際平和年

1989年　**子ども〔児童〕の権利条約**

1991年　**ＵＮＨＣＲ〔国連難民高等弁務官事務所〕**の高等弁務官に緒方貞子が就任

# 第 25 講　倫理確認テスト

1　マスコミのつくり上げる世界を「疑似環境」と呼び，ステレオタイプな世論操作の危険性に警鐘を鳴らしたアメリカ人ジャーナリストとは？

①　ボールディング　②　ダニエル＝ベル

③　リップマン　④　ブーアスティン

2　以下のうち，ＳＮＳ〔ソーシャルネットワーキングサービス〕と関係のないものを一つ選べ。

①　ＬＩＮＥ　②　ツイッター　③　フェイスブック　④　ＳＯＨＯ

3「仮想現実」をカタカナで言った用語とはどれか？

①　パーソナルコミュニケーション　②　テクノクラート

③　メディアリテラシー　④　バーチャルリアリティ

4「いつでも，どこでも，誰とでもネットワークを通じて情報のやり取りができるコンピューター社会」を何というか？

①　ユビキタス社会　②　情報社会

③　男女共同参画社会　④　多文化共生社会

5　マルチカルチャリズムとは何のことか？

①　文化相対主義　②　多文化主義

③　自民族中心主義　④　構造主義

6　日本の抱える多文化への課題としてふさわしくないものを一つ選べ。

①　アイヌ問題　②　沖縄問題

③　在日韓国人・朝鮮人問題　④　少子高齢化問題

7「非政府組織」をアルファベットで書くと何というか？

①　ＮＰＯ　②　ＮＧＯ　③　ＵＮＥＳＣＯ　④　ＵＮＨＣＲ

8　未だ発効していない，1996 年に調印された核軍縮系の条約とは？

①　部分的核実験禁止条約　　②　核拡散防止条約

③　包括的核実験禁止条約　　④　化学兵器禁止条約

9　官僚制〔ビューロクラシー〕の研究で有名な，ドイツの社会学者とは？

①　マックス＝ウェーバー　　②　ハンナ＝アーレント

③　フロム　　④　マルクーゼ

10　『大衆の反逆』を著し，現代社会を考察したスペイン人哲学者とは？

①　ボードリヤール　　②　オルテガ

③　リースマン　　④　ヴァイツゼッカー

解答

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ③ | 2 | ④ | 3 | ④ | 4 | ① | 5 | ② |
| 6 | ④ | 7 | ② | 8 | ③ | 9 | ① | 10 | ② |